

貸借対照表

令和7年3月31日現在
学校法人 総合技術学園
(単位 円)

資産の部	
科目	期末残高
固定資産	1,975,386,428
有形固定資産	1,963,278,620
その他の固定資産	12,107,808
流動資産	188,925,832
資産の部合計	2,164,312,260

負債の部	
科目	期末残高
固定負債	148,166,630
流動資産	167,648,417
資産の部合計	315,815,047

純資産の部	
科目	期末残高
基本金	3,189,069,452
繰越収支差額	△ 1,340,572,239
純資産の部合計	1,848,497,213

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	2,164,312,260
------------------------	---------------

(注記)

1. 重要な会計方針

 (1)引当金の計上基準

 徴収不能引当金:学校法人会計基準第38条の徴収不能引当の特例を適用して徴収不能引当金は繰入していない。

 退職給与引当金:期末要支給額は内訳明細を基に計上している。

 (2)その他の重要な会計方針

 有価証券の評価基準及び評価方法

 有価証券の評価基準及び評価方法は総平均法による原価法である。

2. 重要な会計方針の変更等

 (1)事業活動収支計算書の支出の部の経費支出は当年度から一括表示に変更している。

 (2)学校法人会計基準の計算書類の様式に基づき科目名や順序の一部を変更、組み替えして表示している。

3. 減価償却額の累計額の合計額

 1,197,036,760円

4. 徴収不能引当金の合計額

 該当なし

5. 担保に供されている資産の種類及び合計額

 土地 163,230,000円

 建物 17,851,537円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

 11,886,740円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に該当する資金を有していない場合その旨と対策

 学校法人会計基準第39条の規定により、第4号基本金の組入はない。

8. その他の財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

 (1)有価証券の時価情報

 取得価格と時価評価がことなる証券はない。

 (2)関連当事者との取引

 当校の理事である弁護士片岡清三氏の所属する札幌シティ事務所に対して土地売却取引に関する報酬4,620,000円を理事会の決議により支払い長期前払金に計上している。